



レイ  
ニーズ  
バタ  
フライ

**DOJIN**  
**R18**  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

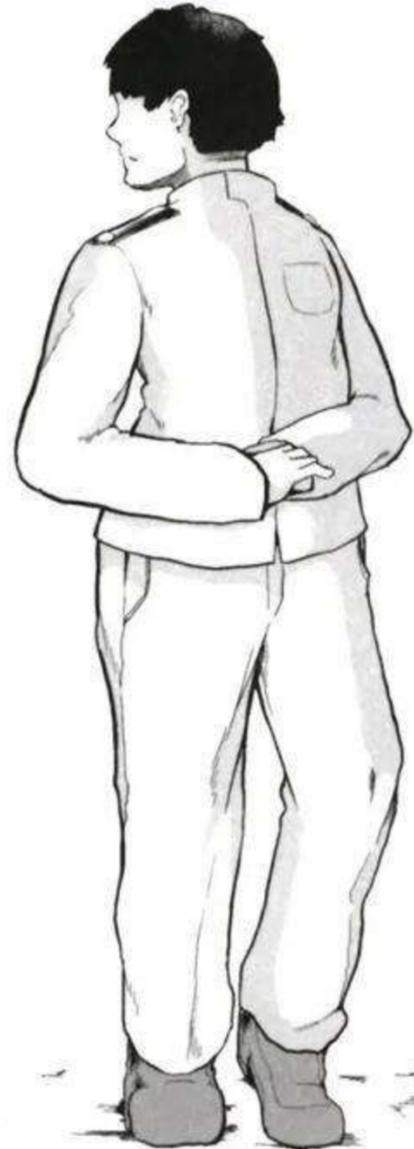
ザアアア

春の終わりを  
日に日に増える  
雨の回数が増えてくれー

雨の匂いも春の空気と  
馴染み始め梅雨の訪れを  
感じさせていたー

そんな時だ

俺が1人の少女と  
出会ったのはー



いいよ  
入れてあげる

あんたそこの  
鎮守府の人だろ？

あ  
ああ…

…  
あんた傘  
ないのか

ザアアア



これが—

彼女との出会いだった—

レイ  
ニ  
ミ  
ズ  
ハ  
タ  
フ  
ラ  
イ



それから朝  
鎮守府に向かう俺の前に  
よく現れるようになったー

あれ？  
またいる

と言っても  
他愛のない話をするだけで  
単調な鎮守府生活を送る俺に  
1つの楽しみが出来た

よく散歩してから  
鎮守府に行くのか？

その程度に  
思っていた

ああ  
雨が好きで…  
梅雨の時期は特に

雨か  
あたしも  
好きなんだ

何をしているのかは知らない

あたしの名前？  
別にいいだろ？

名前を聞いてもー

まあ…名前を  
知ったところで  
朝会って話すだけの仲だ  
特になんとも思わない

と言って  
教えてくれなかった

一昨日よりも増えてる！  
あじさいの花！

ーはずだった

14:

15!

あ！

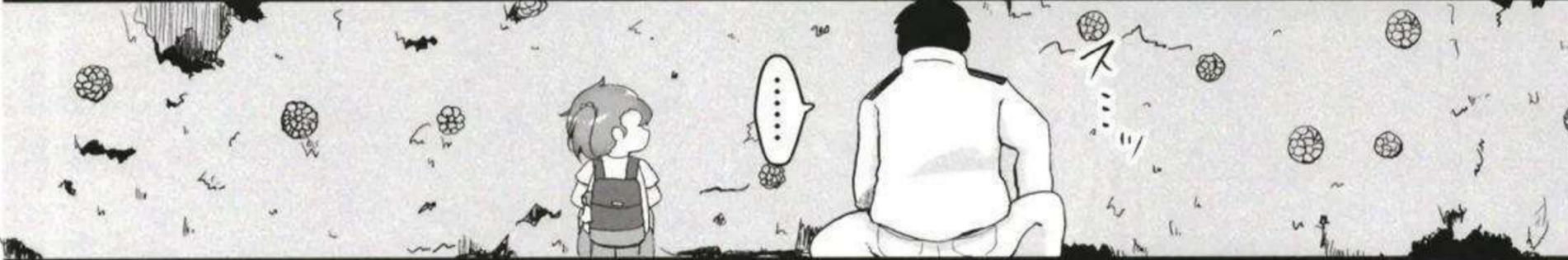
見てみる！  
ちようちよだ！

お  
ほんとだ



梅雨の時期で大変だろ？

大丈夫か？



雨だと羽が濡れちゃうもんな

気をつけるんだぞ



なあ  
マダラ蝶って  
知ってるか？

こいつも  
そうなのかな？

マダラ蝶？



……っ

日本で唯一  
海を渡る蝶なんだ！

夏は南から北へ  
秋から冬にかけては  
北から南へ

すごいだろ！

……  
あたし  
この場所が好きだ！

ここにいと……  
全部忘れられる気がする！

へえ  
そんな蝶もいるのか  
稚り鳥みたいだ

全部……？

……？

あんと……

フッ

あんたと話してるときも

そんな気がするんだ

それは今までの  
彼女が見せた  
ことのない笑顔で

それでいて  
どこか寂しげな  
ようにも見えた

ふう…  
急に降ってきたな…

予報だと  
降らなかったのにな…

通り雨だろう  
ここなら屋根が重なって  
濡れないし  
止むまで待とう

そうだな



あたしもだ…  
少し気持ち悪い…

それにしても  
肩が少し濡れてしまった…

どっしょり…



ああっ  
すまないっ!

あんたがいるって  
いうのに!

あっ!

おっおれこそ  
すまないっ



……

どうしてか分からない



彼女の透き通った肌に…  
か細い体に…  
さっきのどこか寂しげだった笑顔を  
重ね合わせた瞬間

たまらなく悲しくなり…

ふはっ…

それを埋めるかのように  
お互いキスをした…



なあ…君  
何かあったんだろう…？

俺でよかったら…  
力になりたいんだ…

だめか？

……！



わっ

じゃあさ…

私を…

大人にしてくれ…

え！！







いっやっまだだぞ...

このまま俺に身を委ねろ...

これが大人のすることなのか...

あっあんだ...  
ホクッ  
ホクッ  
すう...  
ホクッ

こっこれって男の人の...  
これを挿入れるんだろ...?  
こんなの入るのか...?

わからん...  
大丈夫か...?

ここからが本番だ...

ホロリッ



ごうよ...

あたしはもうあんたのもんだ...  
大丈夫だぞ

そうか...!

痛かったら  
言うんだぞ...!

はっ...!

くっ...  
さすがにきついが...  
入ったぞ...

んっ...  
少し苦しいけど...  
大丈夫だ...

ゆっくり動くからな...

はっ

あっ

なんかすごい...

熱くて...

気持ちいい...

俺もだ...  
キツくてすぐ  
イってしまいそうだ...

でもこの分なら奥まで  
入れても大丈夫そうだ...!

はっ

はっ

はっ



しゅっしゅっ...  
今の...もっとな...

あ...  
あんな...  
トロンと



ああ...  
待ってる...!



これっ...  
だめっ...っただ

あ...  
びくびく

ほらっ  
これなら奥まで  
たくさん届くぞ...!

きゃん

これからも俺でよかったら  
いつでも力になってやるからな!

うん♡

だから安心するんだぞ!

うん♡

射精る…  
射精るぞ!!

ジュルウルル

ふう…

チュニ  
チュニ

ホタッ

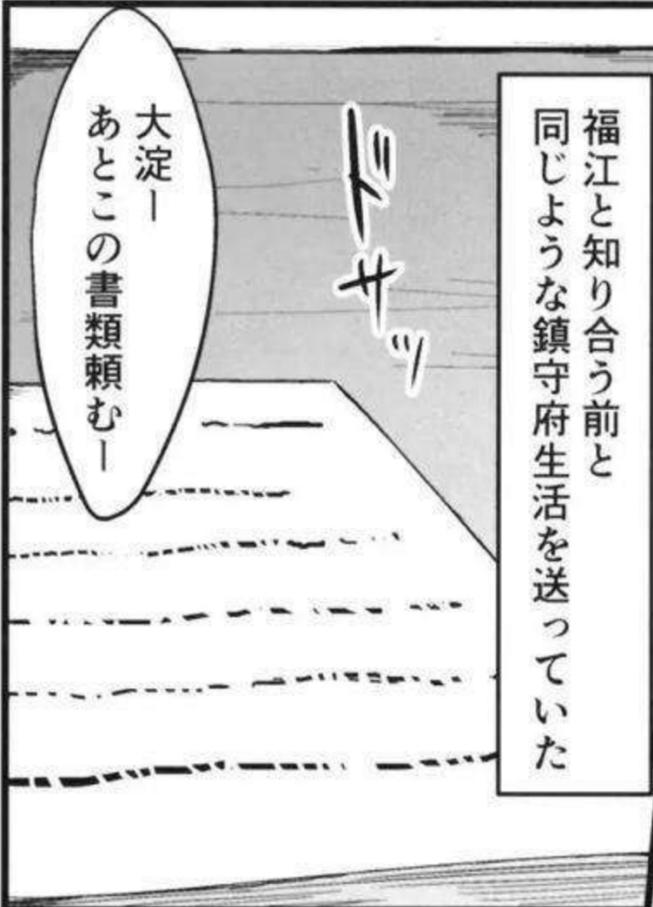
ホタッ…

…とんだ雨宿りに  
なってしまったな



こうして俺は  
福江と一線を  
越えたのだがー

その後しばらく  
福江は姿を  
現さなかったー



俺は福江のことが  
気になりつつもー

福江と知り合う前と  
同じような鎮守府生活を送っていた

大淀ー  
あとこの書類頼むー



次は奥の第三倉……



ふう

こっちの在庫は  
問題なし……と

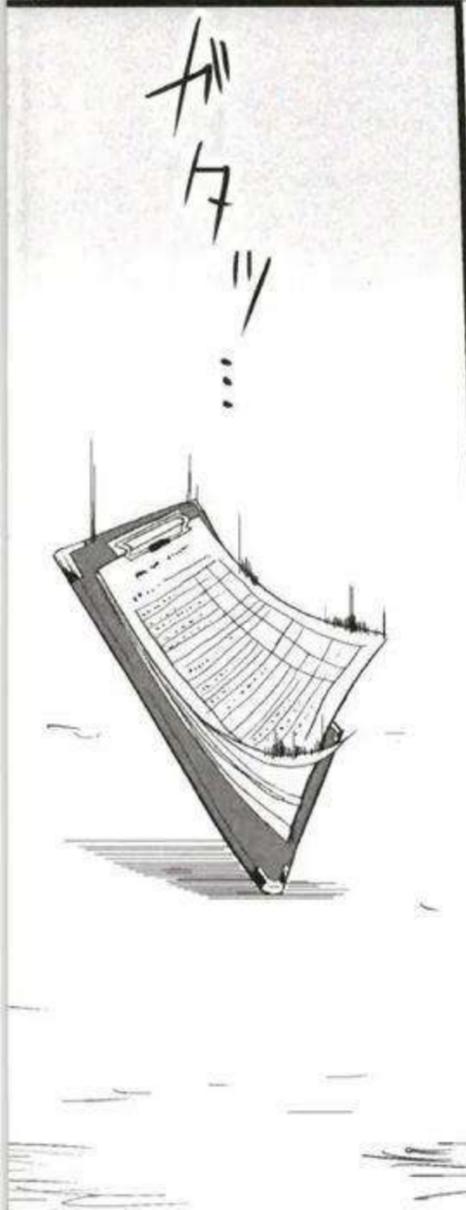


庫……



あつ……

修復



カタツ……



……

あんたとしよっちゆう  
会ったのもその合間  
だったんだ……

修復

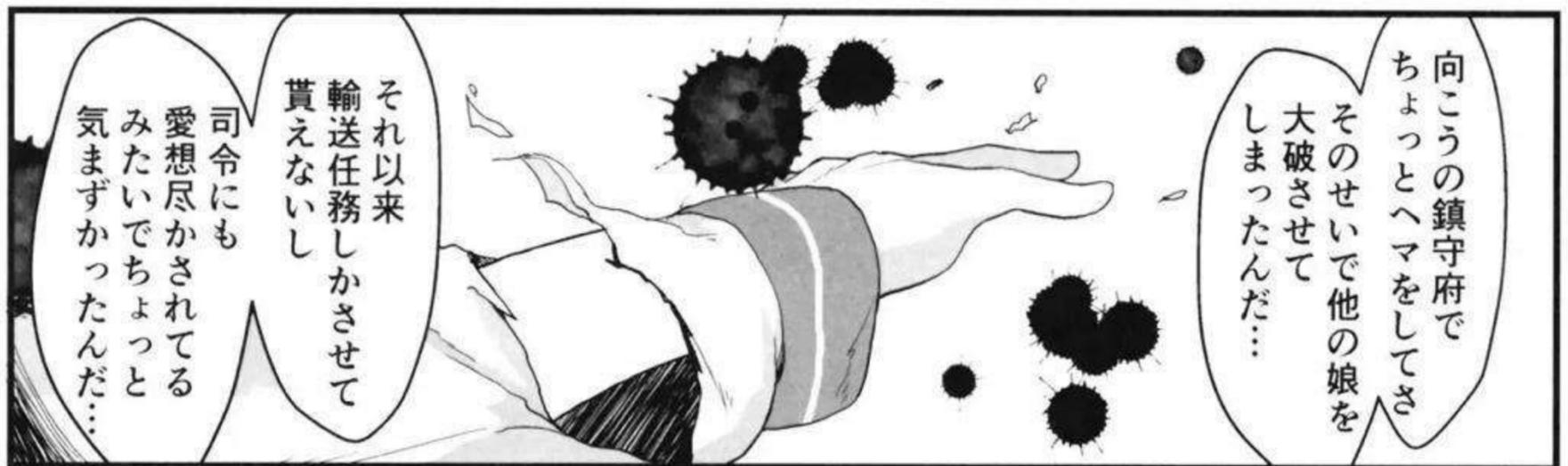
あたし……  
物資の輸送任務で  
度々他の鎮守府から  
ここに來てるんだ……

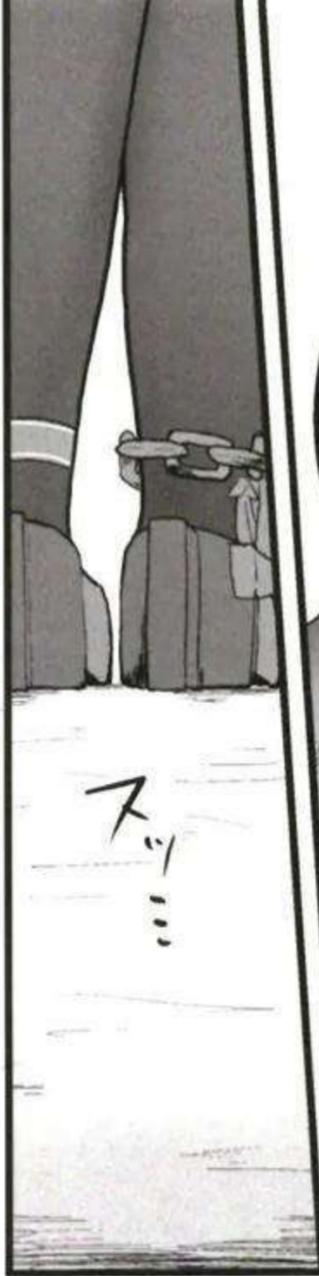


ふ  
福江……?

どうして……?

コト……





あ  
あんた…



だからもうそんな  
悲しい顔をするな!!

俺が福江の司令でも  
なんにでもなってやる!



司令…

おぼ…



ちゅ…

あんたが好き…



好きだ…

ちゅ…



あたし…

ちゅ…

俺ひとりの力じゃ  
福江をどうにもできない  
事なんてわかってる

あゝ

うん

もっと...奥まで

うん

うん

あんたを感じたい...

それを福江も  
分かっていただろう

うん

ふっ福江...

やばい...  
もう射精そう...

ぐあっ...

福江...

ダメだ...射精る...!

んん

んん

おおっ...

うん

んん

もしこの状況を解決できる術があるとするならー



俺はまだそれを知らない

福江…好きだし…

し…し…し…

フッ



福江…

好き…

あた…まし…

ぬらり

フッ

フッ

今はただー



その悔しさや  
苦しさを忘れるかのようにー







俺たちは  
ひたすら交じりあった





……



なあ福江……

このまま  
この鎮守府に……



えっ

……残念だが  
それは無理だ



……

ありがとう

少し楽になれたよ



今回でもう  
終わりなんだ

この任務



ここに来るのも  
今日までらしい

おかげさまで  
あたし達の鎮守府の  
資源も規定量を満たしたんだ

まっまで…  
それってどういう…



…なあ

この前話した  
マダラ蝶の話、覚えてるか？



そ  
そんな…

そんなのって…



そんなの…



あたしも…  
なんのために海を  
渡ってるんだろうな…



あいつらってなんで  
海を渡るか未だに  
解明されてないんだって

そんなの

俺のためでいい

また別の任務で  
ここに来るかも  
知れないだろ？

それまで…  
俺はずっと待ってるから…

ありがとう…

……

これって…

あたしのリュックに  
付けてるてる坊主と  
同じものだ

これなら離れていても  
いつでも一緒だからな…

…これを…  
あんたにやるよ

福江…

…じゃあな

あんたが

あたしの司令だったら  
よかったのに



俺はあの時何て言えば  
いいかわからなかった—

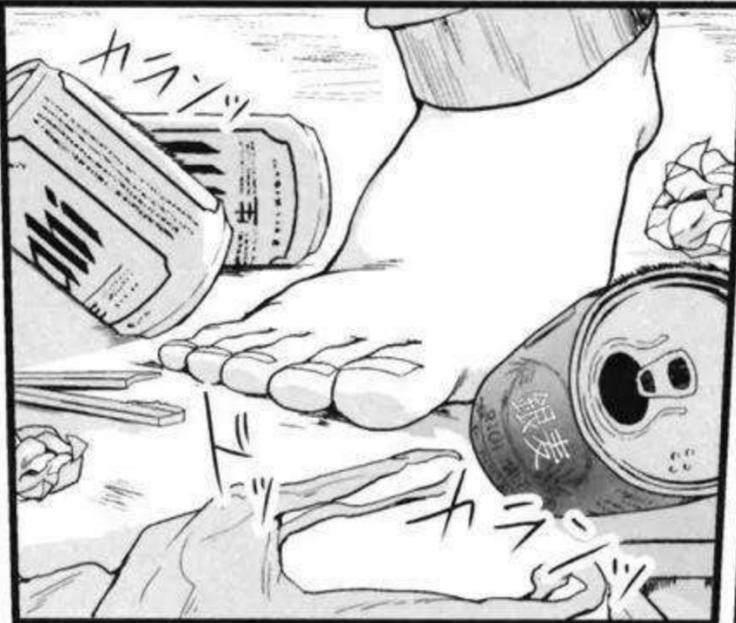
福江が最後に言った言葉に  
どうしようもなく  
自分の無力さを感じたからだ――

俺はその時の福江の顔を  
今でも覚えている――

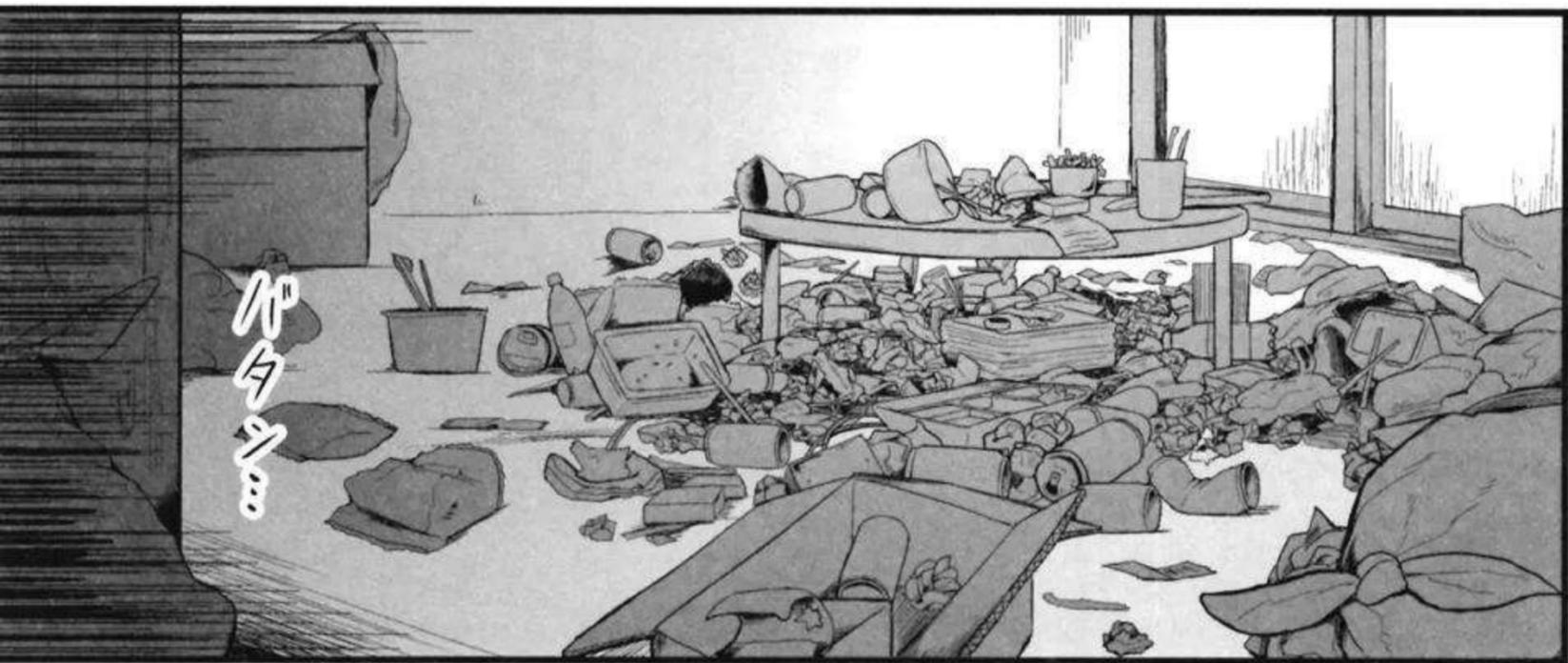


そうー

3年経った  
今でもー



かー  
かー



かー  
かー



ずっとー  
考えていたー

ただ生きていだけー



どこかに消えて  
いくんじゃないかと—



あの時いつまでも  
待っている  
と言った俺が—



そんな  
日々が続く内に—

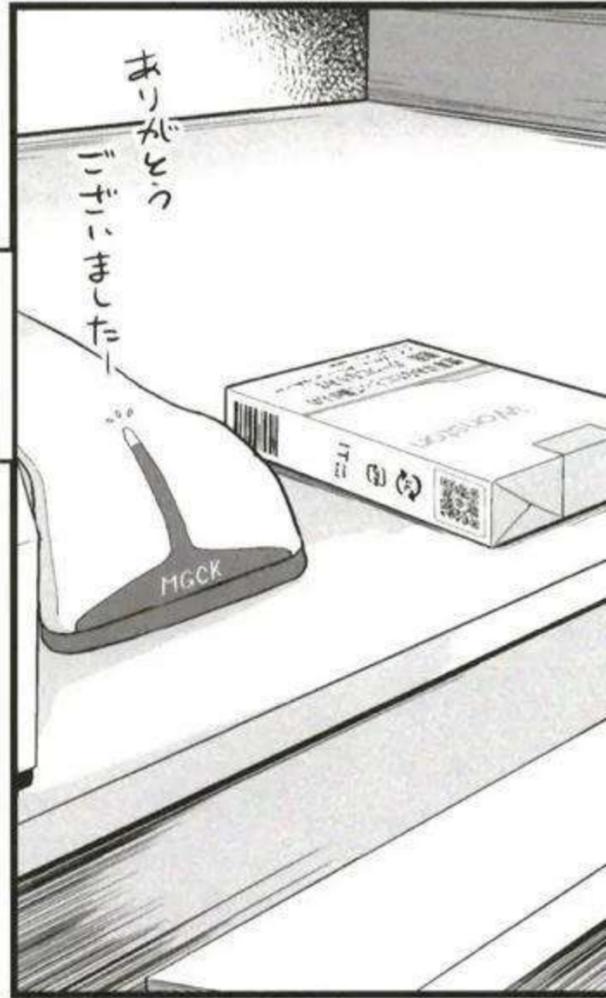


そうなっているのかも  
しれない—



もう—

いや—



ありがとう  
ございました—



静かに  
積み重なる—



部屋の埃のように—



やるせない  
感情だけが—



アサギマダラ

# アサギマダラ 長距離移動の神秘

アサギマダラという蝶を知っているなら「渡り」をする蝶として知られ長距離移動をする。その数多くの



アサギマダラ

日本で唯一「渡り」をする蝶として知られており最長2000キロにもおよぶ長距離移動をする。

アサギマダラは体内に有毒成分を蓄積しており鳥類から狙われることが少なく――

美しく目立つ色彩を持つものが多い――

なぜだろう



調べれば調べるほど福江と重ねてしまう

海を渡るマダラ蝶――



今はどの海を渡っているのだろうか――

オオオ...



毎年ここに来る蝶も

マダラ蝶だったんだな…

憑りつかれたように  
調べたからわかる

あのマダラ蝶にはもう—

会えるはずもないのに…

ヒクッ

詳しいな  
調べたのか？

へえ



お…  
おまえ…っ



だ…  
一体だれ



あ？



もう昼過ぎなのに  
まだ鎮守府に  
来ないと思っただから  
ここだと思っただ

あたしが居なくなつてからの  
あんたは酷いらしいじゃないか

向こうでも噂になつてたぞ

特に最近



制服もしわくちや



常に酒臭い

タバコの量も  
多い



遅刻常習犯



心配した向こうの司令が  
今回の判断を下したんだ

理由はどうであれ  
あんたがあたしを  
連れてきたようなんだ

心配したが…  
うれしかった

ふ…  
福江…

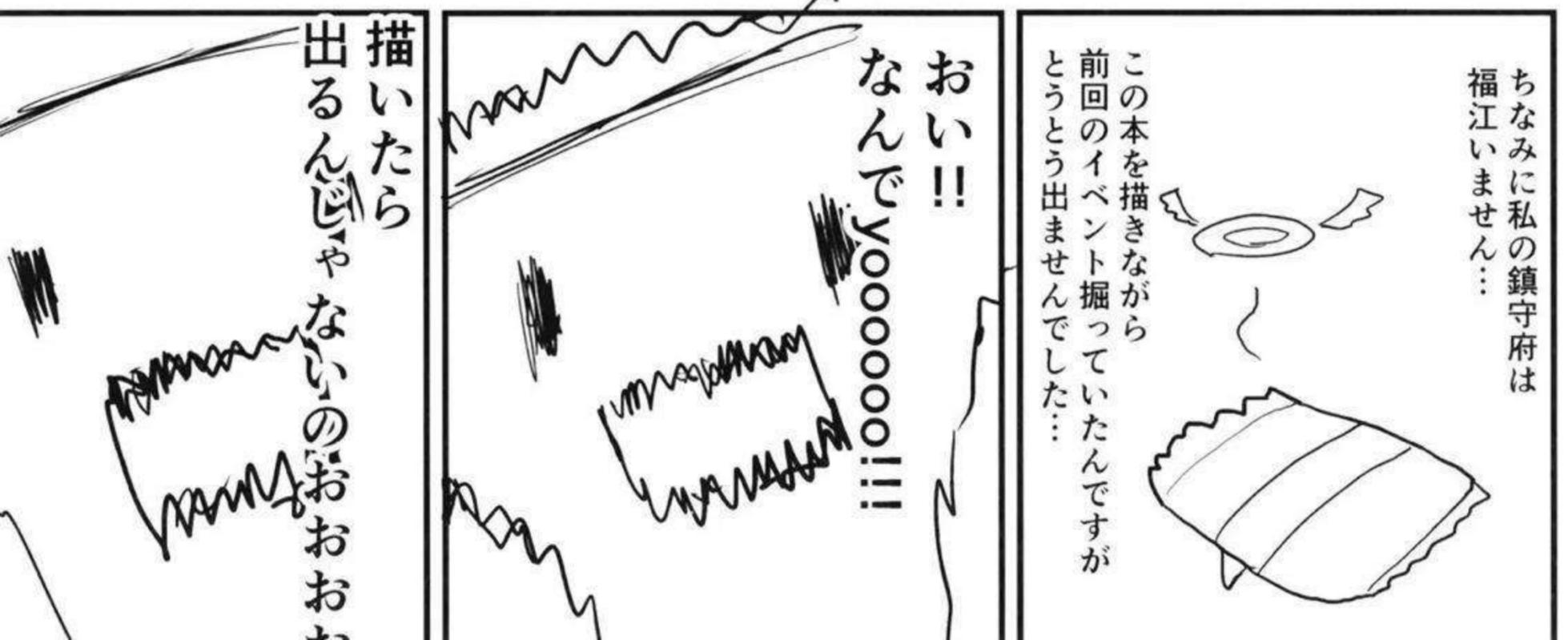
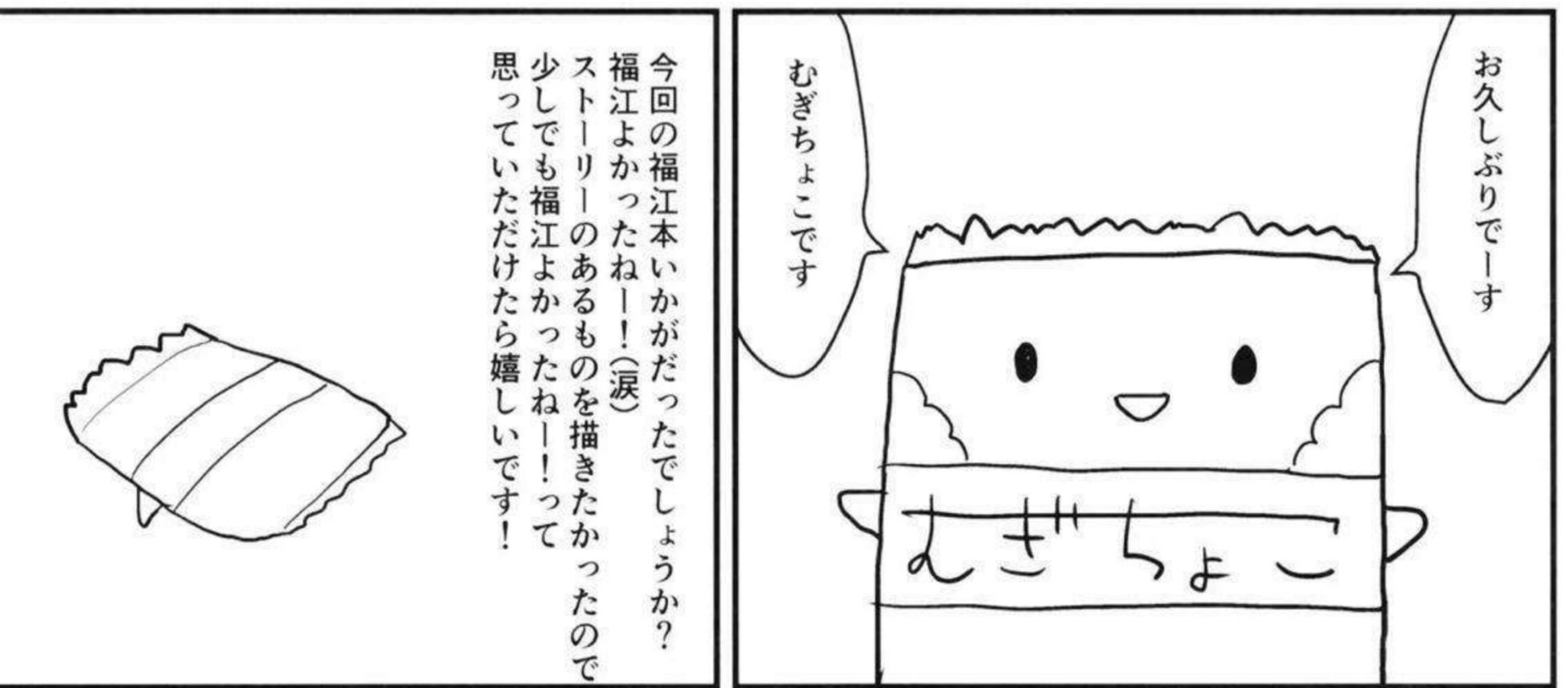
福江

着任！

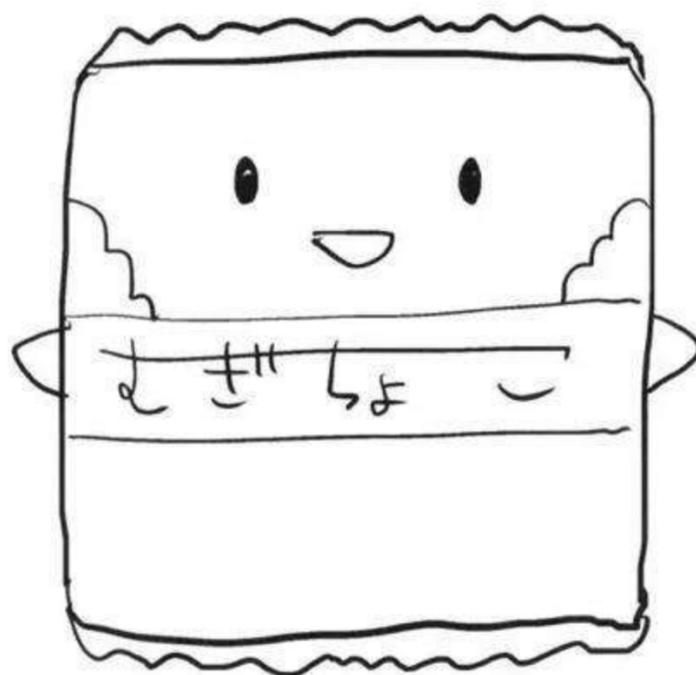
よろしく頼む  
……司令！



# あ と が き



今回、C98は残念ながら中止となってしまいましたが



次回のイベントでまたいつもと変わらず本を出せたらいいなと思っています！  
それまでがんばります！

レイニーシーズン・バタフライ

発行日 2020/5/3

発行 むぎちょストア

twitter @mugichokooo

pixiv 5605258

印刷 サングループ様

